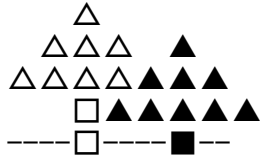


2004/03/02



北海道立林業試験場メールマガジン

『北の森の達人』

Vol. 05 第5号

□■□読者の皆様へ□■□

北海道立林業試験場メールマガジン『北の森の達人』は、北海道の森林・林業・身近なみどりに関わる情報を皆様に直接お届けするメールマガジンです。

□■□目次□■□

■刊行物ダイジェスト	グリーントピックス No. 30 光珠内季報 No. 133 きたのみどり No. 9
■ホームページの紹介	北海道立林業試験場研究課題評価
■森林Q & Aで解決!	カラマツの虫害特集
■今日の達人のささやき	森林保護部病虫科長 原 秀穂

■刊行物ダイジェスト1 グリーントピックス No. 30 (2004. 2発行)

- ◇組織培養によるトカチスグリの増殖
林業試験場では、レッドデータブック（環境省）において準絶滅危惧種（生息条件の変化によっては「絶滅危惧」になる種）に分類されている十勝に自生するトカチスグリの組織培養による増殖方法を開発しました。
- ◇台風10号による厚別川流域の河畔林被害
平成15年8月に北海道に上陸した台風10号に伴う集中豪雨は、日高地方新冠町、門別町を流れる厚別川流域において、多量の流木の発生などの大きな被害をもたらしました。このため、流木の供給源の一つである河畔林について、被害実態の解明を試みました。
- ◇カラマツ林に広葉樹が混交すると害虫の天敵類が豊富になる
食葉性害虫が大発生する原因の一つとして、カラマツ林は生態系が単純で天敵相が貧弱であることが考えられます。カラマツ害虫の蛹を林内に置き、どの程度天敵類に食べられるかを、カラマツだけの林、広葉樹が多く混交したカラマツ林（カラマツ広葉樹林）、広葉樹林と比べてみました。
- ◇森林とみどりの担い手養成セミナー
林業試験場では、林業やみどり環境づくりに携わる技術者や自然教育活動の指導者を志す方々のために、平成16年度も、「森林とみどりの担い手養成セミナー」を開設します。

<-刊行物詳細情報->
<http://www.fri.hro.or.jp/kanko/topics.htm>

■刊行物ダイジェスト2 光珠内季報 No. 133 (2004. 1発行)

- ◇カシワのどんぐりの大きさと発芽特性 - ところ変われば品変わる - (森林環境部 真坂一彦)
各地の海岸林でカシワ堅果を採種しました。日本海側の堅果の重さは他の地域のものより重かったです。発芽時期は春が暖かい地域で遅く、発芽率と負の相関がありました。堅果重と発芽時期は苗の樹高と相関がありました。それゆえ植栽時には、カシワの産地を考慮する必要があります。
- ◇樹木写真のデジタル画像データベース (森林環境部 山田健四)
みどりの景観づくりに利用できる樹木画像データベースを作成しました。収録された2,000枚以上の樹木画像を検索する機能や簡易な成長予測機能を持ち、市販のグラフィックソフト等と組み合わせ、誰でも簡単にパソコン上でみどりの景観設計を行うことができます。
- ◇障害者の森林利用を考える - 障害者施設へのアンケート調査の結果から - (森林環境部 佐藤孝弘)
障害者施設へのアンケート調査を実施しました。その結果、障害種を問わず約80%の施設が森林での活動を実施していることを確認しました。また、森林利用に必要な配慮事項として、日常生活動作を支援する設備、ソフト、情報提供を重視していることがわかりました。
- ◇木質バイオマスの有効利用に向けて - カラマツの未利用バイオマス量調査 - (林業経営部 酒井明香)
カラマツを間伐・主伐した際に発生する未利用バイオマスの重量を足寄町の町有林にて測定しました。間伐林分については全木重量の34%、主伐林分については26%のバイオマスが発生しました。バイオマスの発生量には採材方法や集材距離が大きく関わるため、立木材積からバイオマス発生量を予測することは今のところは難しいことがわかりました。

<-刊行物詳細情報->

<http://www.fri.hro.or.jp/kanko/kiho/kiho13.htm>

■ 定期刊行物ダイジェスト3 . . . きたのみどり No.9 (2003.12発行)

- ◇ 北海道立林業試験場 緑化樹センター
 - ななかまど特性審査基準(案)の作成 -
- ◇ アロニアメラノカルパの組織培養による増殖
- ◇ 根株を用いた緑化
- ◇ 緑化樹Q&Aコーナー
 - ・ 樹木の種子はどの深さに播いたらよいのですか?
- ◇ 読者の声
 - 緑化樹木の品質
 - (川原花木園 代表取締役 川原元信)
- ◇ 緑化相談等の経過
- ◇ 道内における過去5年間の公共用緑化樹の使用推移
- ◇ 緑化樹センターが取り組んでいる研究課題の紹介

<-刊行物詳細情報->

<http://www.fri.hro.or.jp/kanko/kitam/kitamindex.htm>

■ ホームページの紹介 . . . 北海道立林業試験場研究課題評価

北海道では、道立試験研究機関が取り組む研究を一層効果的・効率的に推進するため、平成13年度から研究課題の評価の本格実施を開始しました。

当試験場では「北海道立林業試験場における研究課題評価実施要領」を制定し、研究課題評価を実施しています。

評価は、事前評価、中間評価、事後評価、追跡評価の4種類に分けられます。これらについて、要領に従って林業試験場内で自己評価を実施したのち、北海道総合企画部により外部委員の意見を取り入れた総合評価を実施する、という2段階の評価を行っています。当該ホームページでは、要領に基づき、今年度評価を行ったすべての研究課題課題の評価調書を公開しています。

<-北海道立林業試験場研究課題評価詳細情報->

<http://www.fri.hro.or.jp/news/hyoka/h15/top.htm>

■ 森林Q&Aで解決! . . . カラマツの虫害特集

【Q1】カラマツが5月に真っ赤になった。害虫の種類と生態を知りたい。

【A1】5月中旬～6月上旬頃にカラマツを赤くする害虫は、カラマツツミノガです。年1回発生し、幼虫で越冬します。幼虫は小さな蓑虫で、春、カラマツの開葉とともに食害を開始します。成虫は6月に出現します。孵化した幼虫は針葉内に潜って食害し、大きくなると蓑虫になります。落葉期にミノを枝に固定し、その中で越冬します。

被害は夏には緑を回復するので分からなくなります。カラマツを枯らすことはありません。しばしば、広域に大発生しますが、1～2年で終息します。

【Q2】カラマツに発生しているヒラタハバチ類について知りたい。

【A2】道内ではニホンアカズヒラタハバチ、カラマツヒラタハバチ、ニホンカラマツヒラタハバチの3種が発生しています。いずれも北海道ではこれまで分布の記録がなく、最近本州から侵入したものと考えられています。ニホンアカズヒラタハバチとカラマツヒラタハバチは1994年に道央(石狩や胆振東部)で、ニホンカラマツヒラタハバチは1993年に道東(弟子屈町など)で突然大発生しました。1999年現在、道央での被害はほぼ終息しましたが、道東ではいぜんとして大発生が続いており、被害地域も拡大しています。

これらヒラタハバチ類は食葉性の害虫です。食害により直接カラマツが枯れることはありませんが、激害が3年続いた林でカラマツヤツバキクイムシの2次被害による枯損の発生が観察されています。

いずれの種も成虫は6月頃出現し、幼虫は7月頃カラマツの葉を食害します。大発生地では7月下旬～8月上旬頃、カラマツが葉を失って赤くなりますが、2～3週間後には再び新葉を展開します。

【Q3】トドマツ、カラマツ、アカエゾマツの若齢造林地に発生するアブラムシの種類と防除対策は?

【A3】トドマツにはトドマツオオアブラムシ、カラマツにはカラマツオオアブラムシ、アカエゾマツにはエゾマツオオアブラムシといった黒っぽい大型のアブラムシ(体長3～4mm)が発生します。トドマツとアカエゾマツの稚樹はアブラムシの被害により枯れることがあります。カラマツの稚樹は成長が早いためアブラムシの被害で枯れることはありません。ただし、気象条件や立地条件が厳しく、成長が悪い場合は枯損の心配があります。

春～初夏にジメトエート粒剤を根元の周囲約10～15cmの円内に散粒し、かき起こしするか軽く覆土します。

【Q4】カラマツの球果を加害する害虫の種類と、被害球果の見分け方を知りたい。

【A4】主な害虫はカラマツタネバエです。被害球果は変形しており、一部が褐色に変色し、正常なも

のに比べて小さいといった特徴があります。

<-森林Q & A詳細情報->

<http://www.fri.hro.or.jp/q&a/index.htm>

■今日の達人のささやき

森林保護部病虫科の原です。カラマツでは害虫がしばしば発生します。その一因はカラマツ林は生物多様性が低く害虫の天敵相が貧弱なことと考えられます。実際に一部の天敵類について調査したところ、広葉樹の混交したカラマツ林はカラマツ-齊林に比べ天敵類の多様性が高いことが分かりました。今後とも試験研究を進め、生態系を生かした害虫防除に取り組んでいくつもりです。

////////////////////////////////////

■発行・編集

北海道立林業試験場

〒079-0198 北海道美唄市光珠内町東山

■問い合わせ担当

企画指導部森林情報室情報管理科

メールマガジン専用電子メール mmgadmin@hfri.pref.hokkaido.jp

■記事の取り扱い

北海道立林業試験場メールマガジンに掲載された記事を転載することはご遠慮ください。

////////////////////////////////////